

駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場・第一球技場

東洋の魔女が東京五輪(1964年)で
 金メダルを獲得したレガシー施設の再生



1964年東京オリンピックの舞台にもなった駒沢オリンピック公園総合運動場。ここに建つ屋内球技場・第一球技場は、バレーボール、ホッケー会場として使用され、当時「東洋の魔女」と呼ばれたバレーボール日本女子代表が金メダルを獲得した会場としても知られています。銭高組は、この歴史的な舞台を造り、そして2017年3月、新しい姿のスポーツ施設として再生しました。

今回の計画は、この屋内球技場と第一球技場を、様変わりしたスポーツ施設のあり方や利用者のニーズを踏まえ、次世代に繋ぐ施設として計画されたものです。駒沢公園の新たな顔としてにぎわいを生むアーチ構造によるシンボル性のある景観を創出する施設で、屋内球技場はバレーボール、ハンドボール、バドミントン、フットサル等の球技が可能であり、第一球技場は公式ホッケーフィールドとして国内公認を取得し、新たな歴史を生み出すことが期待されています。



PICK UP 特徴的なアーチ構造

屋内球技場は、アリーナ大空間を覆う鉄骨造のアーチ架構と屋根架構からなる上部構造、およびそれらを支える鉄筋コンクリート造の下部構造及び基礎構造から構成されています。

高さ約28mのアーチ架構は直径1,100mmの2本の鋼管と鋼管を繋ぐ頂部のH鋼、および面剛性を確保する水平ブレースからなります。金属板と屋上緑化で仕上げる短辺約62m、長辺約84m、約5mのむくりのついた屋根は、アーチ材から降ろしたケーブルによる吊り構造です。

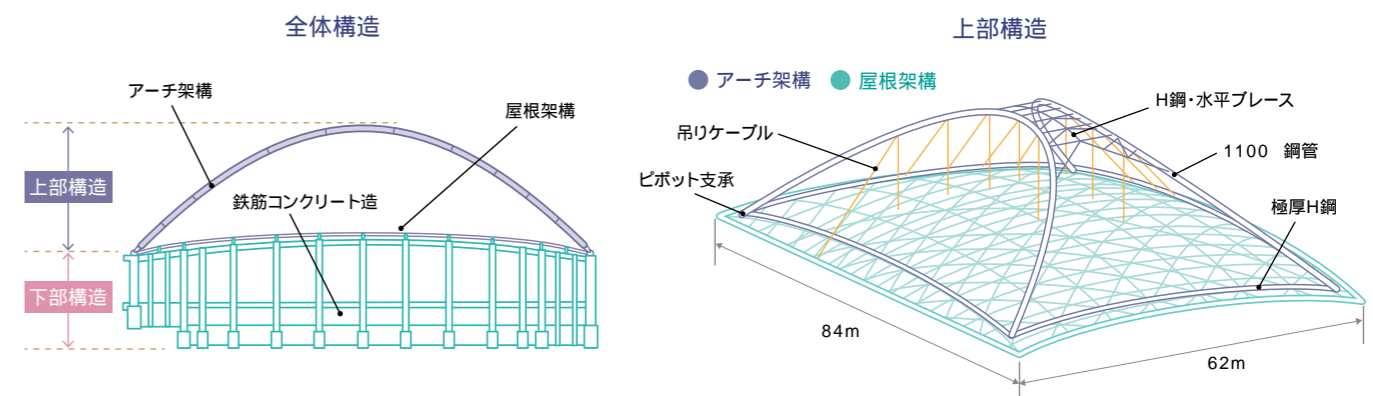
アーチ鉄骨が下部構造と接するピボット支承は、凸部を凹部で受ける形式で、橋脚にも用いられる構造です。温度変化による部材の伸びは回転で吸収できます。

工事概要

施工場所 東京都世田谷区駒沢公園1番1号
 構造概要 RC造・S造 地下1階地上2階建
 施工・発注者 東京都
 完成年月 2017年3月
 設計・監理 (株) 粹設計



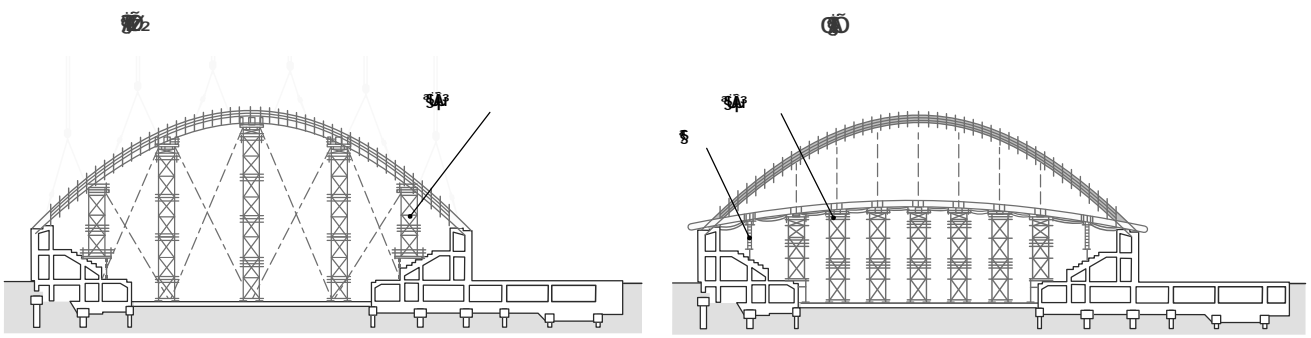
旧駒沢オリンピック公園総合運動場
 屋内球技場・第一球技場
 (施工: 銭高組)
 1964年9月完成時の写真



70b

PrM. 70b w
 y 70b w
 U 00K

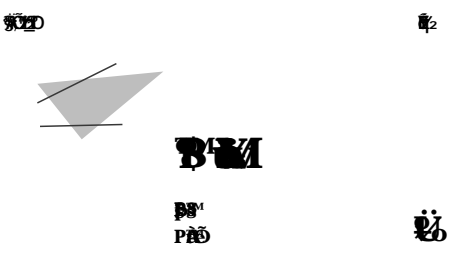
U



70c

y 70c w
 2 ODS w

0" U w
 I w
 -% w d
 U w
 U w



y 70c w
 7Pú r w
 h i w X
 y 70c w
 U w

I w